新型コロナウイルスワクチン接種についての情報提供

コロナワクチンは人類に対して初めて使用される遺伝子ワクチンであり、まだ治験の途中で緊急使用されているため、効果や安全性の情報が不足しています。接種は強制ではありません。本人が希望する場合のみ接種が行われます。薬品の投与には必ずリスクが伴います。効果とリスクの双方を理解した上で、自らの意思で判断する必要があります。当院では患者様の健康を考え、最新の情報をご提供させて頂きます。判断材料としてご利用頂けると幸いです。

＜効果＞

・発症の予防および重症化の予防を期待（治験中のため効果は不明）

※あくまで発症の予防であり感染の予防効果は極めて低い（厚労省発表）

ｲｷﾞﾘｽは非接種者より2回接種者の方が約4倍感染率が高いというﾃﾞｰﾀを公表し、日本も同様の状況となっている

※4回目の接種が進んでいるイスラエルでは感染者の急増が止まらず、重症化する人も増え、死者も急増している。

※政府はワクチン接種証明書を発行しているが、国内での運用は感染抑止効果が確認出来ないため中止。予防接種法では非接種者への差別は許されないとの付帯決議が成されている。

＜リスク＞

◎日本における副反応の疑い事例（R.3.2/17～R.4.2/18厚労省発表）

・死亡報告　１４７４件　→　１５７１件に増加！！（R.4 .3/18）

※平成30年のインフルエンザワクチン接種後の死亡報告数3件

・重篤な副反応　６４５４件　→　６６３１件に増加！（R.4 .3/18）

心筋炎、脳血管障害、失明、ギランバレー症候群など

・2回以上の接種後90％以上に発熱、頭痛、強い倦怠感、関節痛など（これらの症状は報告義務がないため副反応件数に含まれていない）

◎アメリカの状況（2022.3.18時点　CDC等発表）　副反応報告数１１９万５９３４人

・死亡　２万６０５９人　・入院　１４万３５５４人　・緊急ケア　１２万４７７７人　・アナフィラキシー　９５００人　・心筋炎　３万７１３３人　・流産　４３７７人

＜考察＞

昨年ワクチン接種が始まってから、厚生労働省は「副反応検討部会」という会議を2週間に1度開催し、専門家が集まって接種後の副反応についてデータを確認しながら、その度合いを検討してきた。当初から「ワクチンは安全安心」「デメリットよりベネフィットが上回る」という結論ありきで会議が進む茶番だったが、最近は更に酷くなり、どれだけ死者が出ようが、重篤な状態に陥ろうが、淡々と何もなかったように会議が進む。そしていつの間にか3週間おきになり、今では月に1度の開催となっている。接種後の死者、重篤者の中には10代以下の子供も多く含まれている。特に心筋炎の発症は無視できる頻度ではない。WHOも子供への接種を推奨していない。厚労省は国民を守る気はないようだ。

「国民の命と未来を救済するために」

先月5日、福島市にて免疫学や分子病態学などの世界的権威である大阪市立大学医学部名誉教授の井上正康先生の講演会が開催されました。講演のタイトルは「コロナとワクチンの全貌～子どもたちの命と未来を守るために～」。県内外から約250人もの観衆が集まり、井上先生の話を真剣に聴き入っていました。この講演会を主催した実行委員の代表は私が務めておりました。実行委員には医師も数名含まれており、後援にも多くの医師や医院が名前を連ねてくれました。私も、多くの医師たちも、この医学的・科学的に正しい知識がメディアによって歪められ、誤った情報により多くの国民が苦しんでいることに忸怩たる思いを抱いています。井上先生もその一人です。3年前までは「ためしてガッテン！」や「世界で一番受けたい授業」などのテレビ番組にも出演され、正しい医学知識を披露されておられましたが、この騒動が始まって以降一切出演依頼がなく、逆に「デマを言う医者」などと誹謗中傷を受けるようになりました。井上先生は研究者の中でも数少ない論文を査読する側の専門家です。つまり、研究者が出した論文が正しい物か判断する専門家ということです。誰よりも正しい知識が無ければその判断は出来ません。だからこその世界的権威。現在もコロナ関連の論文を毎日5本以上は査読しており、コロナとワクチンについて全貌を知る日本でも稀有な存在となります。にも関わらず、マスメディアは何の根拠も示さず「デマ」と断じる。井上先生は、今テレビなどで発言している自称専門家たちに、直接対談やテレビの生放送で討論するよう呼びかけていますがその機会は与えられません。これがマスメディアのやり方です。自分たちの都合の良い話をする自称専門家だけを出演させ、国民を誤った知識で洗脳し、誤った方向へ扇動する。まさに戦時中の大本営発表です。もはや猶予はないと、現在井上先生は全国各地で講演活動をされています。一人でも多くの国民に真実を伝えなくてはならない。本来、私たちのような一般市民がお呼び出来るような先生ではないのですが、ダメ元でお声がけすると二つ返事で快くご承諾頂き、福島へ来て下さいました。講演料はタダ同然で。当日、たくさんお話をさせて頂きましたが、この国を、国民を救いたいという熱い想いが溢れていました。先日、一般社団法人「ワクチンハラスメント救済センター」という、ワクチンを強制されたり後遺症で苦しんでいる人たちを救済するための組織が立ち上がり、井上先生が代表理事に就任されました。これから今以上に第一線で活躍して下さると思います。私も同センターの賛同・協力者に名を連ねています。井上先生と共に理不尽な社会と戦っていきたいです。

コロナやワクチンを解説

大阪市立大医学部名誉教授の井上正康さんを招いた講演会「コロナとワクチンの全貌（ぜんぼう）～子どもたちの命と未来を守る為に」は5日、福島市のホテル福島グリーンパレスで開かれた＝写真。有志でつくる実行委の主催。県内外から約250人が参加した。新型コロナウイルス感染症やワクチン接種などをそれぞれが判断する際に役立ててほしいと開いた。井上さんは、科学的見地からマスク生活や行動制限、自粛の効果があるのかなどを語った。

講演会の模様は新聞でも報じられました

当日用意した井上先生の著書60冊が完売！単独の講演会ではあり得ない反響でした。